

(個人用)

行政視察等報告書（個人用）

令和7年4月7日

知立市議会議長 様

報 告 者	兼子 義信
日 時	令和7年3月26日（水）27日（木）28日（金）
視察（研修）場所	石川県金沢市・輪島市
目 的	能登半島地震復興支援状況視察
【概 要】	
1. 中小企業基盤整備機構研修 被害の状況の確認 特に道路や上下水道 人口の流出 災害発生時の対応の状況・課題 復旧支援の状況と課題 北陸本部の現在の取り組み 仮設施設整備支援事業の進捗状況など	
2. 町野復興プロジェクト実行委員会 震災後2月にプロジェクトを立ち上げ、住民の協力を得て復興を進めてきている。特に9月大雨の洪水によってかなりの被害を受け、新たな課題に取り組んでいる住民のアンケートを取り炊き出しや地域行事などにも取り組む。まちづくり協議会を設立したり情報を得るためのエフエムラジオ局の開局などにも挑戦している。	
3. 町野もとやスーパー 地震に続き洪水でショッピングセンターが水没。新たに全国から多くの支援を得て店を開店し地域の復興に関わっている人たちの弁当など販売をして頑張っている。ボランティアなどで支援をする人たちがたくさんいて守られていることを認識した。	
4. ヒューマン シールド神戸 地震発生直後の初動の人命救助 瓦礫でふさがれた道路を重機やチェーンソーを使って通れるようにする技術を持った応援者の重要性を学ぶ。	
5. のと復耕ラボ 民間のボランティアセンターを立ち上げ、ボランティアの受け入れや宿泊棟の支援などして頑張っている。	
6. 輪島社会福祉協議会 発災後の住民のニーズに合わせてボランティアを送る仕事を行った。特に社会福祉士協議会の職員も被災している中でボランティアを受け入れる大きな施設や駐車場などの確保、ボランティアに使う資材や自動車等の手配にかな	

り苦勞した。事前に災害を予測して準備をしておく必要性を学んだ。

7. ソナエルフクイ畑プロジェクト、輪島朝市の視察

地震後の火災で何もなくなってしまった平地。その一部を利用して畑プロジェクトの立ち上げなど、手探りの復興への努力を学んだ。

【所感、知立市政への反映に向けた課題等】

知立市も南海トラフ地震の被害を想定をしてかなりしっかりと準備をする必要性を感じた。特にインフラ、道路や電気、上下水道が止まったときにどのように対応するのか、またボランティアで来てもらう人たちの受け入れ駐車場や資材や重機置き場、寝られる場所など、事前にどこが使えるのか企業との提携も含めてしっかりと準備をする必要がある。

※報告書は視察（研修）場所ごとに作成してください。

報告書は視察（研修）終了後1週間以内に提出してください。